

東急車輛製造株式会社 殿

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

改造等の概要

主要諸元比較表

(改造車・試作車・組立車)

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名	東急	—	—	乗車定員	人	—	—
型式	TD43JOT2S	—	—	最大積載量	kg	30000	—
自動車の種別	普通	—	—	車両 総重量 kg	前前軸重	16260	—
用途	貨物	—	—		前後軸重	—	—
車体の形状	セミトレー	—	—		後前軸重	13085	≤10t
燃料の種類	—	—	—		後中軸重	—	≤10t
原動機型式	—	—	—		後後軸重	13085	≤10t
総排気量	cc	—	—	計	42430	≤28t	—
長さ	m	11.200 (10.750)	≤12 m	最大安定傾斜角度	右 左	※ 55 ※ 55	一般 ≤35 その他 ≤20
幅	m	2.995	≤2.6m	タイヤ サイズ	前前軸	—	—
高さ	m	1.880	≤3.8m		前後軸	—	—
軸距	m	8.450 + 1.200	—		後前軸	235/70R17.5 138/134J	—
		= 9.650			後中軸	—	—
軸距	m	—	—		後後軸	235/70R17.5 138/134J	—
室内又は 荷台の内 側の寸法	長さ	m	5.300	—	前前軸	—	—
	幅	m	2.995	—	前後軸	—	—
	高さ	m	—	—	後前軸	77.2	≤100
車両重量 kg	前前軸重	3830	—	%	後中軸	—	≤100
	前後軸重	—	—	積車時前軸荷重割合	—	—	≥18, 20%
	後前軸重	4300	—	リア・オーバーハング	m	1.100	≤(L/2) 11/20, 2/3L
	後中軸重	—	—	荷台オフセット	m	3.750	—
	後後軸重	4300	—	最小回転半径	m	※ 11.2	≤12 m
計	12430	—	—	—	—	—	

能力強度等検討

制動力	降力	kg	60	km/h	39	m	—	車体強度 $\sigma_s / \sigma = 4898 / 897.9 \times 2.5 = 2.2 > 1.6$
	空気圧	kPa	637	—	—	—	—	車輪強度 東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一
推進軸 強度	回転数	N C / N	/	=	—	—	—	操縦装置強度
								緩衝装置強度
								制動装置強度
								連結装置強度
強度	$\sigma B / \tau$	/	=	—	—	—	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一	
—	—	—	—	—	—	—	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一	

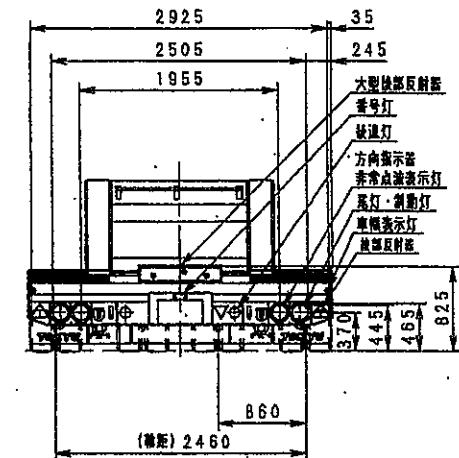
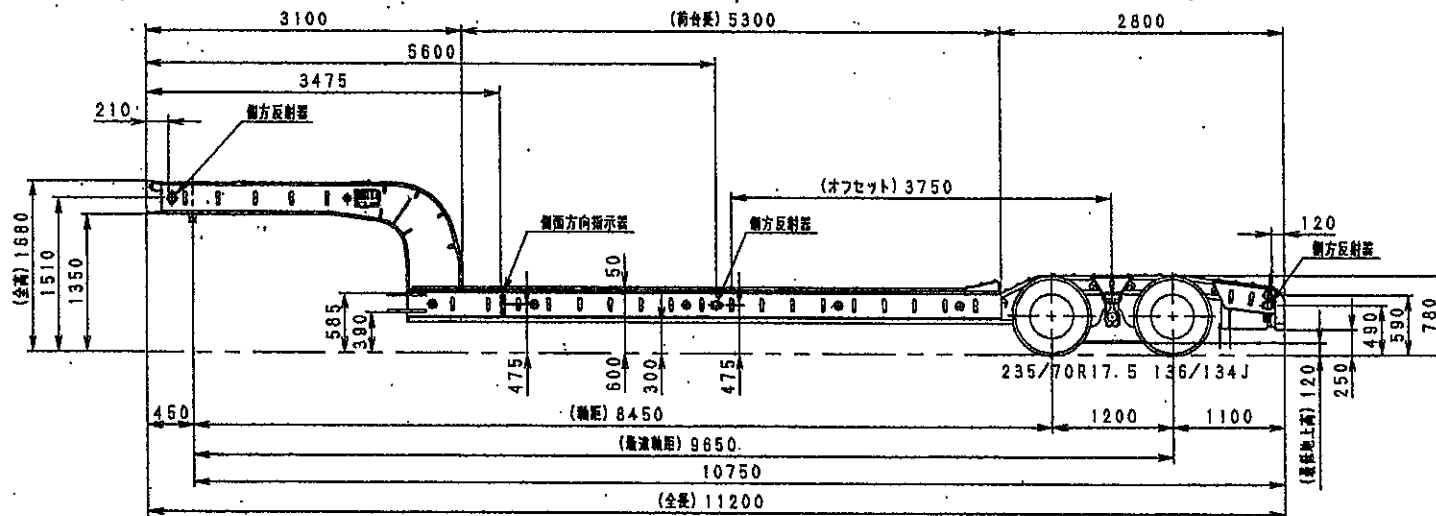
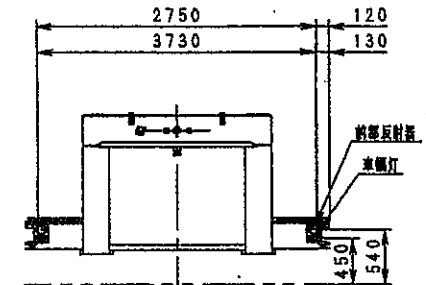
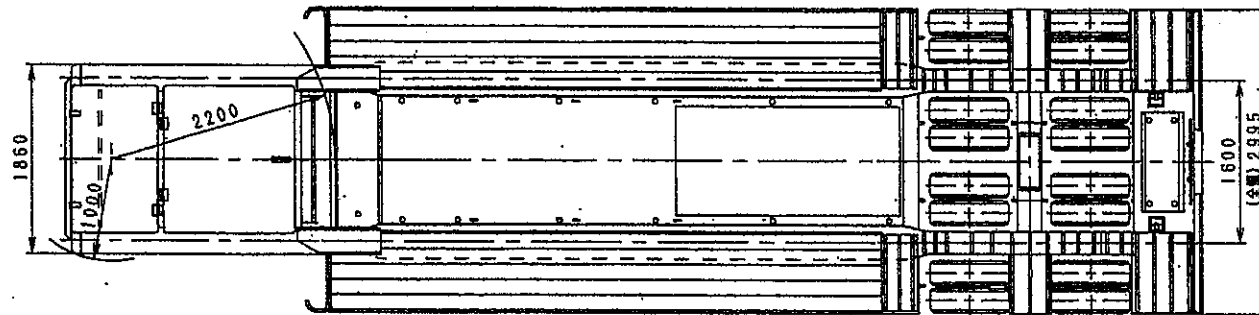
注1. (改造車・試作車・組立車)の欄には、該当するものを○で囲むこと。

注2. 能力強度等検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。

注3. ※印は、 $\frac{1}{2}$ の不明(2653LS) 型トラックと連結時の計算値を示す。

目的	重量物品の安全輸送をはかるため、中低床式セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車体及び車体	全体の構造は梯子型で主レールとアウトリガーおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており前部下面にキングピンを、後部に車輪装置を取り付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一。(12自審第 651号 新型自動車第 16886号) 前後方向に揺動するウォーキングビームの両端に死軸式の車輪を揺動するように取り付けられたもので、路面の変化に対応接地できる構造となっています。
操縦装置	
制動装置	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一。(12自審第 651号 新型自動車第 16886号) (主ブレーキ)気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ)スプリング式 ABS装置一式
緩衝装置	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一。(12自審第 651号 新型自動車第 16886号) ウォーキングビーム方式
連結装置	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一。(12自審第 651号 新型自動車第 16886号) 第5輪方式 JIS-D-6602 に準じて製作してある。
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線を記入すること。



配布	
詳説2	1
詳説2并	1
養生管	5
部品管	2
TSEナギ	1
TSEニツ	1
TSHバ	1
営業	1
計	12

13813

東急 TD43J0T2S型

トレーラ全体図